



DH SYSTEM
大日本塗料株式会社

商品番号 3401

レジライニングMH

1. 一般名 ビニルエステル樹脂塗料
2. 規格 社内規格
3. 特徴
1) FRP 用樹脂として高い耐食性と強度を有する。
2) プライマーや上塗との相互密着性に優れている。
3) 日本下水道事業団の品質規格に対応している。

4. 塗料性状

項 目		内 容					
容姿		2 液性 (主剤、硬化剤)					
荷姿		18kg (主剤)					
色相		クリアー					
密度 (23℃)	塗料	1.0~1.2					
	揮発分	—					
加熱残分		100% (理論値)					
乾燥 時間	温度 (℃)	5	10	20	30	40	
	硬化剤量※1	3	2	1.5	1	0.6	
	半硬化 (時間)	8	4	2	2	2	
標準膜厚		—					
引火点		S D S 参照					
発火点		S D S 参照					
爆発限界 (下限~上限)		S D S 参照					

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

5. 塗装基準

項 目		内 容					
下地処理		—					
調合法		主剤 100、硬化剤 0.6~3 (重量比)					
乾燥 時間	温度 (℃)	5	10	20	30	40	
	硬化剤量※1	3	2	1.5	1	0.6	
	時間 (分)	60	30	20	20	15	
洗浄用シンナー		レジライニング洗浄用シンナー					
塗 装 法	塗装方法	ローラー、刷毛、コテ、ヘラ					
	希釈率	無希釈					
	標準使用量※2	1.00 kg/m ² (素地調整) 1.10 kg/m ² (補強層) 0.40 kg/m ² (表面補強層)					
	標準膜厚	—					
	ウェット管理膜厚	—					
塗 装 間 隔	温度 (℃)	5	10	20	30	40	
	最小 (時間)	8	4	2	2	2	
	最大 (日)	7					

※1) 主剤 100 に対する硬化剤量

※2) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

6. 施工上の注意

- 被塗布面の塩分、油脂、湿気、じんあい、その他の有害な付着物は完全に除去する。
- 硬化剤はパーメック N (日油社製) を用いる。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な塗料状態としてから塗装する。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しないことがある。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間内に使い尽くすこと。
- 洗浄シンナーはレジライニング洗浄用シンナーを使用すること。
- パテとして用いる場合はミルコン S S 2 (昭和 K D E 社製) を 7.5%~20% (重量比) 添加する。
- 貯蔵有効期間 3 ヶ月以内に使用する。

7. 関連法則

	主 剤
危険物表示	第 4 類第 2 石油類
有機溶剤区分	第 2 種有機溶剤含有物
有害物質表示	S D S 参照
劇物表示	—

8. 使用上の注意 [警告]

- (1) 安全情報に関する内容は、S D S をご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。